

令和3年度行政事業レビューシート (内閣官房)

事業名	指紋自動識別システム等警察情報システムの整備及び運用 (情報通信技術調達等適正・効率化推進費)			担当部局庁	内閣官房副長官補		作成責任者			
事業開始年度	令和3年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	情報通信技術(IT)総合戦略室		内閣参事官 吉田 宏平	内閣参事官 奥田 直彦		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等						
主要政策・施策	IT戦略			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	指名手配、盗難車両、指紋等に関する捜査関連の情報等をシステムで管理し、第一線警察官等が必要な時に必要な場所で必要な情報を活用可能とするなど、適正かつ効率的な警察活動を支えるため、各種システムを整備するとともに、安定稼働に資する。また、警察庁職員の事務処理を効率化するためのシステムを整備する。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	第一線警察官からの照会への即時対応等のため、各種システムを整備しているが、万一、これらシステムが停止した場合は、第一線の警察活動及び国民生活に多大な影響を及ぼすことから、システムの安定稼働のため、職員による24時間365日のシステム運用、障害発生時の迅速な対応等を行う。また、警察庁職員の事務処理を効率化するため、電子メール、掲示板等の機能を提供するシステムを整備する。									
実施方法	直接実施、委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	-			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計		0	0	0	0	0	0		
	執行額		-	-	-	-	-			
	執行率 (%)		-	-	-	-	-			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				
令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	-		-	-						
	計		-	-						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
	警察活動に必要な情報システムの運用	実質的な稼働率(システムが稼働していた割合)		成果実績	稼働率(%)				-	-
		正常稼働時間/総稼働時間		目標値	%				-	100
				達成度	%				-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	情報管理課調べ									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	運用中のシステム数				活動実績 当初見込み	システム数				4
単位当たり コスト	算出根拠				単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	
	執行額/事業				単位当たり コスト	千円				
				計算式	執行額/事業					

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	(警察庁)1 市民生活の安全と平穩の確保							
	施策	(警察庁)1 総合的な犯罪抑止対策の推進							
	測定指標	定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 年度	目標年度 年度
		重要犯罪(注1)の認知件数 (注1) 殺人、強盗、放火、強姦性交等、略取誘拐・人身売買及び強制わいせつ	実績値	件					
			目標値	件					
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	指名手配、盗難車両、指掌紋等に関する捜査関連の情報等をシステムで管理し、第一線警察官等が必要な時に必要な場所で必要な情報を活用可能とするなど、適正かつ効率的な警察活動を支えるため、各種システムを整備するとともに、安定稼働に資すること、また、警察庁職員の事務処理を効率化するためのシステムを整備することにより、総合的な犯罪抑止対策の推進に寄与する。								
	政策	(警察庁)1 市民生活の安全と平穩の確保							
	施策	(警察庁)2 地域警察官による街頭活動及び初動警察活動の強化							
	測定指標	定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 年度	目標年度 年度
刑法犯及び特別法犯の総検挙人員に占める地域警察官による検挙人員の割合		実績値	%						
		目標値	%						
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
指名手配、盗難車両、指掌紋等に関する捜査関連の情報等をシステムで管理し、第一線警察官等が必要な時に必要な場所で必要な情報を活用可能とするなど、適正かつ効率的な警察活動を支えるため、各種システムを整備するとともに、安定稼働に資すること、また、警察庁職員の事務処理を効率化するためのシステムを整備することにより、地域警察官による街頭活動及び初動警察活動の強化に寄与する。									
政策	(警察庁)1 市民生活の安全と平穩の確保								
施策	(警察庁)3 悪質商法等の防止及び環境破壊等の防止								
測定指標	定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 年度	目標年度 年度	
	悪質商法事犯等(注1)の検挙事件数 (注1) 利殖勧誘事犯、特定商取引等事犯及びヤミ金融事犯	実績値	事件						
		目標値	事件						
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
指名手配、盗難車両、指掌紋等に関する捜査関連の情報等をシステムで管理し、第一線警察官等が必要な時に必要な場所で必要な情報を活用可能とするなど、適正かつ効率的な警察活動を支えるため、各種システムを整備するとともに、安定稼働に資すること、また、警察庁職員の事務処理を効率化するためのシステムを整備することにより、悪質商法等の防止及び環境破壊等の防止に寄与する。									

政策	(警察庁)2 犯罪捜査の的確な推進							
施策	(警察庁)1 重要犯罪・重要窃盗犯の検挙向上							
測定指標	定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 年度	目標年度 年度
	各重要犯罪(注1)の検挙率 (注1)殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐・人身 売買及び強制わいせつ	実績値	%					
		目標値	%					
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
指名手配、盗難車両、指掌紋等に関する捜査関連の情報等をシステムで管理し、第一線警察官等が必要な時に必要な場所で必要な情報を活用可能とするなど、適正かつ効率的な警察活動を支えるため、各種システムを整備するとともに、安定稼働に資すること、また、警察庁職員の事務処理を効率化するためのシステムを整備することにより、重要犯罪・重要窃盗犯の検挙向上に寄与する。								
政策	(警察庁)2 犯罪捜査の的確な推進							
施策	(警察庁)2 政治・行政・経済の構造的不正の追及の強化							
測定指標	定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 年度	目標年度 年度
	政治・行政をめぐる構造的不正事案の検挙状況(事件) (注1) (注1)公職選挙法違反事件を除く。また、同一の被疑者 で同種の余罪がある場合でも一つの事件として計上して いる。	実績値	件					
		目標値	件					
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
指名手配、盗難車両、指掌紋等に関する捜査関連の情報等をシステムで管理し、第一線警察官等が必要な時に必要な場所で必要な情報を活用可能とするなど、適正かつ効率的な警察活動を支えるため、各種システムを整備するとともに、安定稼働に資すること、また、警察庁職員の事務処理を効率化するためのシステムを整備することにより、政治・行政・経済の構造的不正の追及の強化に寄与する。 なお、2-3、3-1、3-2、3-3、5-1、5-2、5-3、6-1及び7-1についても関連する。								

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	各種システムの整備・運用(システムの安定稼働)を通じて、第一線警察活動を支えており、国民や社会のニーズを反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	警察が取り扱う情報は機微であり、当該情報を取り扱うシステムの運用は民間等に委ねることはできない。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	第一線の警察官が必要な時に必要な場所で必要な情報を活用するためには、システムの安定稼働は最優先である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	所管府省名	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果			
	改善の方向性			
外部有識者の所見				
点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
終了予定	次年度予算計上省庁において、適切な執行に努めるとともに効率的に執行した実績を、概算要求に反映させること。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
予定終了通り	デジタル庁(R3.9~)において、引き続き、適切な執行に努める。			

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	警察庁(当初7)			
平成23年度	警察庁(45)			
平成24年度	警察庁(32)			
平成25年度	警察庁(5)			
平成26年度	警察庁(7)			
平成27年度	警察庁(6)			
平成28年度	警察庁(6)			
平成29年度	警察庁(6)			
平成30年度	警察庁(4)			
令和元年度	警察庁 - 0006			
令和2年度	警察庁 - 0005			

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

